

保育計画成果報告書

法人名	株式会社キッズパレス
施設名	大阪市小規模保育園キッズパレス
報告者（役職）	新堂 幸子（主任）
住所・連絡先	大阪市阿倍野区旭町1丁目6番3号
	☎ 06-6636-8151
	E-mail la-la.palace@helen.ocn.ne.jp

○タイトル（保育計画）

「保育園大好き！心も体も元気いっぱい！お友だちも仲良く笑顔いっぱい！」
～楽しくあそぼうキッズチャレンジ～

○主な助成備品

「ロディ・専用ロッキング台」「ソフトプレイランド」「ボール」
「鉄棒・安全マット」「柳沢式跳び箱」「エバテム（平均台）」

1. 保育計画策定の目的

近年、都市開発が進む中、生活は便利になるもの子どもたちが伸び伸びと安全に遊べる環境が失われつつあります。それに伴い筋力も弱く、子どもたちの運動能力も低下していると指摘されており、歩行の安定が悪く転倒しても両手をつけて自分の身を自分で守る手段や方法がわからない子どもたちが多くなっているようです。昔は戸外で走り回りあそびの中で自然に身につけていた事が、現在では難しくなっており、群れであそぶ事がほとんど少なくなりました。その為、子どもたちの気持ちの育ちにも影響があるのではないかと思います。たてわりで生活するメリットは、大きな子が小さな子をいたわる気持ちや、小さな子が大きな子をお手本に色々な事にチャレンジしてみようとする気持ちが育つ事だと思います。人は、個々に認められる事で自信を持ち、自己肯定感が育っていくと言われます。

キッズパレスの保育方針の一つに、「集団の中で認め合い自信が育つ保育」又、目標の一つに「あそびを通して伸び伸びと自分を表現し豊かな感性と創造性をもつ子ども」を掲げています。

認可外保育園より小規模保育園設立に伴い「保育課程」の概念でもあります「心身共に健やかな子どもに育てる」と言う保育の充実を図る為、子どもの体力づくりを重視し保育士や保護者と一緒に触れ合いながら又、無理なく年齢(月齢)に応じた全身を使った様々な運動あそびやたてわりでの集団あそびを通じ、楽しく体幹を鍛える事を目的として取り組んでいます。



「できた！」が自信につながり、毎日楽しく体を動かし、脳も一緒に育てる事で必然的に基礎力が高まります。常に発達を理解し日常的に実践していくことが確実に子どもたちの将来に繋がると思います。

今回、体育スクールや、運動会、日常のあそびを通して、0歳児～2歳児の乳児の運動あそびが、天候や時間を関係なく、柔軟に取り組めるように購入させて頂きました。



自由な組み合わせで楽しめます



どうやって乗り越えようかなあ～

2. 具体的な実施内容

A・・・ロディとロディ用ロックンク台

ロディの色鮮やかで可愛らしい容姿や、ソフトな感触のロディを使ってあそぶ事で子どもたちの心の安定も視野においた本園独自の「ロディ体幹あそび」のプログラムを年間通じて行っている。ロックンク台を使用する事で0歳児より安全に使用する事が可能である。



ロディを使い体幹を鍛え緊張筋を鍛える

*体幹を鍛える（体幹の使い方を覚える）メリット・・・「バランス感覚の向上」以外にも怪我の予防や筋肉の運動性の向上など・・・大人になってからは難しい感覚を鍛える

- | | |
|----------------|---|
| ロディに乗る(跳ねる) | : 骨盤が立って体幹が鍛えられる |
| ロディの上を歩く | : バランス感覚を養う |
| ロディを積む | : ロディをバランスよく重ねて積み上げる
(両手を上にあげて持ちあげる) |
| ロディヨガ | : ダウンドック・木のポーズ |
| ロディを選ぶ | : 色の認識・目・鼻・口・尻尾など顔や体のパーツの理解 |
| ロディは空間認識能力を鍛える | : 物の位置、方向、姿勢、感覚など、すばやく正確に把握、
認識する能力 |

B・・・ソフトプレイランドを組み合わせ、色々な運動あそびにチャレンジする。

低反発素材の柔らかい素材の運動遊具（ソフトプレイランド）組み合わせ自由で色々と並べ方を工夫する事で、年齢（月齢）個人にあった全身を使った運動あそびが室内でも可能である。

**C・・・エバテム（平均台）・・・横歩き(バランス) ・またぐ ・高低差を変えて歩く
橋に見立てて一本橋を渡る
工夫しながら形態に変化をつけて活動する**

**D・・・ボール・・・ 0歳児－ボールを転がし這い這いを促す・追いかける
1・2歳児－転がす・投げる・籠に入れる・蹴る**

**E・・・鉄棒・・・個々に合わせた活動をする。ぶら下がり(筋力、バランス)足掛け/足抜き
プレイランドを補助として使用して、逆上がりに挑戦する子どももいる**

**F・・・柳沢式カニさん・とびばこ・・・サーキットあそびとして登る、降りる
両手に重心をかけて前進移動→開脚とびにつながる**



3. その成果と評価

園庭がない為、近隣の公園で戸外遊びをしています。大型遊具は乳児にとっては難しさもあり、常に安全を考慮しながらの環境であった。ソフトプレイランドは、天候や時間に関係なく使用する事ができ、乳児が安全でなお且つ全身運動も出来る事がとても魅力的であり有効でした。

階段登りや斜面登りなど、様々な組み合わせで色々な滑り台を設定する事が可能であり、年齢に合った活動が楽しめている。運動会では、1歳児クラスの親子競技！「公園であそぼう」のプログラムで、「ごっこあそび形式」で運動あそびを取り入れました。又、ロディは体重200キログラムまで耐えられる事から「親子パン食い競争」など保護者がロディに乗り競争するプログラムも楽しめ、体幹あそびを実際に経験し喜ばれていた。

鉄棒や跳び箱、マット・平均台では、お部屋でのあそびは勿論の事、体育スクールでも年齢に合わせた無理のない講師のプログラムが展開でき、自分の身体を自分で支える事があそびを通じて自然に身につく、しなやかな身体づくりに役立っている。現に2歳児クラスでは鉄棒での足かけまわりや、跳び箱で支えられての開脚跳びが見事であり、子どもの持っている力に驚いている。この様に組み合わせを工夫することで色々なあそびが提供出来た。又、友だちや保育士に認められたり、繰り返しチャレンジする事で、達成した喜びを感じながら、あそびを通じて一人ひとりが自信を持てるようになった。

4. 今後の課題と展望

引き続き、室内で全身あそびが安全に行える様に伸び伸びと出来る環境を常に設定し、子どもたちの運動神経の発達や、瞬時に自分の身を守る反射神経をあそびの中で自然に身につける事が出来るように取り組んでいきたい。又色々な運動器具を使用した楽しいあそびを子どもたちと共感し、提供できるように保育士自身も創意工夫を行い子どもたちの「やってみよう！」とする気持ちを育てていきたいと思います。

楽しい運動あそびから支持力・跳躍力・懸垂力・回転感覚・逆さ感覚・バランス感覚・色判断・協応力など様々な力の要素が自然と身につく、見る力・聞く力・考える力を養っていききたいと思います。

子どもたちが「あそんでみたい!」「さわってみたい!」というオモチャや道具がいつでも手の届く所にあり安全な環境作りにも今後も力を入れて、子どもが常に主体となる保育環境を大切にしていこうと思います。



ロディちゃんがまってるよ
落ちないように…



ボールを追いかけ、よ〜いドン!!
足の親指に力が入っているかな??

